



2020 年度 ルール変更 対照表  
柔道

変更前	変更後
変更前の内容	フッターの改訂日も確認し 2020 年 4 月とすること
<p>3.1 エントリーフォーム</p> <p>3.1.1 SO の柔道競技に参加するアスリートはエントリーフォームに記載する以下の情報により区分される。</p> <p>3.1.1.1 性別</p> <p>3.1.1.2 年齢</p> <p>3.1.1.3 体重</p> <p>3.1.1.4 スキルレベル</p> <p>3.1.1.5 段級位</p>	<p>SO の柔道競技に参加するアスリートはエントリーフォームに記載する以下の情報により区分される。</p> <p>3.1.1.1 性別</p> <p>3.1.1.2 スキルレベル</p> <p>3.1.1.3 正確な体重</p> <p>3.1.1.4 年齢</p>
<p>3.3 個人スキル</p> <p>3.3.3 トレーニングセッションでは以下の技を行う。</p> <p>3.3.3.1 相手を返してからの抑え込み技</p> <p>3.3.3.2 投げ技</p> <p>3.3.3.3 投げ技の受身</p> <p>3.3.3.4 投げ技の連絡技</p> <p>3.3.3.5 T 返し技</p>	<p>3.3.3 トレーニングセッションでは以下の技を行う。</p> <p>3.3.3.1 動作と反応、柔道感覚、闘争心をテストするゲーム</p> <p>3.3.3.2 相手を返してからの抑え込み技</p> <p>3.3.3.3 投げ技</p> <p>3.3.3.4 投げ技の受身</p>
<p>3.5.3 体重</p> <p>3.5.3.1—男子</p> <p>3.5.3.1.1 レベル 1~3&lt;60kg、-66kg、-73kg、-81kg、-90kg、-100kg、+100kg</p> <p>3.5.3.3—女子</p> <p>3.5.3.3—レベル 1~3&lt;48kg、-52kg、-57kg、-63kg、-70kg、-78kg、+78kg</p>	<p>3.5.3.1 アスリートの人数が十分であれば、ガイドラインに従い全レベルで公式の体重別階級を採用することができる。</p> <p>3.5.3.2 男子: &lt; 60kg、-66kg、-73kg、-81 kg、- 90kg、- 100kg、+100kg</p> <p>3.5.3.3 女子: &lt;48kg、-52kg、-57kg、-63kg、-70kg、- 78kg、+78kg</p>
<p>3.5.4 他の基準</p> <p>3.5.4.3</p>	<p>3.5.4.3 全階級を実施できない場合は、合同階級を作ることができる。これにより本来は階級に含まれなかったはずの障害レベルのアスリートが含まれたとしても、正しく組み分けされたアスリートを再び組み分けし直す必要はない。</p>
<p>4.4 開始の姿勢</p> <p>4.4.4 安全のため、審判員が立技から始めることを認めない場合、審判員はいつでも寝技から始める</p>	<p>4.4.4 安全のため、審判員が立技から始めることを認めない場合、審判員はいつでも「待て」の後で寝技から試合を続けることができる。</p>



<p>ことや、立技からを寝技から始めることに切り換えることができる。アスリートとコーチは、審判員の決定に従わなければならない。</p>	
<p>4.5 禁止技</p> <p>4.5.5 片方の膝、または両膝について前方へ投げ出す</p>	<p>片膝または両膝についての投げ技</p>
<p>5.2 マットエリア</p> <p>5.2.1.5 試合者用赤帯と白帯を各1つ</p>	<p>試合者用青帯と白帯を各1つ</p>
<p>6.1 禁止事項</p> <p>6.1.1 禁止されている技や動作をした場合、審判員は警告を出して、その禁止されている技や動作について説明をすること。繰り返されると、審判員は罰則を与えなければならない。レベル1のアスリートにのみ罰則処置は与えられ、レベル2のアスリートは慎重に判断し与えられる。夏季世界大会ではレベル3のアスリートにも与えられる。</p>	<p>レベル1、2、3で禁止技が繰り返し用いられた場合、審判は「指導」を与えることができる。審判は禁止行為が行われた場合には警告を与え、選手に禁止行為の内容について説明する。審判は同じ間違いが繰り返された場合には罰則を与えることができる。</p> <p>罰則ガイドライン:レベル1では1回の警告後、レベル2では2回の警告後、レベル3では3回の警告後。審判は、レベル4および5では、アスリートの母国語または簡単な言い回しで間違いについて説明できるよう説明時にコーチの立ち合いを求めるものとする。レベル4および5では、繰り返し説明を行った後にのみ「指導」が出される。レベル1および2では、説明時にコーチが立ち会うことが強く推奨されている。</p>
<p>6.3 掴むこと／触れること</p> <p>6.3.1 立技で対戦相手の足を掴むもしくは触れた場合、直接反則負けの原因にはならず、指導のみが与えられる。(6.1.1 参照)</p>	<p>&lt;削除&gt;</p>
<p>8.</p>	<p>8. コーチによる指導(コーチング)</p> <p>柔道ではコーチングが重要な要素である。コーチがアスリートのレベルに合わせて試合中に指示を出すことで、両選手の安全が保証される。レベル1および2のアスリートに対しては「待て」がかかっている間のみ指導することができる。レベル3のアスリートに対しては試合中を通じて励ますことができるが、技術的なアドバイスは「待て」がかかっている間のみ与えることができる。レベル4および5のアスリートに対しては、試合中を通じて励ますことも技術的アドバイスを与えることもできる。</p>
<p>9</p>	<p>9. ユニファイドの形</p> <p>9.1 ユニファイドの形:スペシャルオリンピックスのアスリートが「取り」、ユニファイドのパートナーが「受け」</p> <p>9.1.1 全能力レベルが参加可能</p> <p>9.1.2 あらゆる形が可能</p> <p>9.1.2.1 カテゴリーA1-投げの形-レベル1、2、3の3グループ-初心者</p>



	<p>9.1.2.2. カテゴリーA2-投げの形-レベル 1、2、3 の 3 グループ-上級者</p> <p>9.1.2.3            カテゴリーB1-投げの形-レベル 2、3、4 の 2 グループ- 初心者</p> <p>9.1.2.4            カテゴリーB2-投げの形-レベル 2、3、4 の 2 グループ- 上級者</p> <p>9.1.2.4 カテゴリーC1-投げの形-レベル 3、4、 5 の 1 グループ-初心者</p> <p>9.1.2.5 カテゴリーC2-投げの形-レベル 3、4、 5 の 1 グループ-上級者</p> <p>9.1.3            (その他の形でも同じ組み分けが可能)</p> <p>9.2 ユニファイドの形の試合では、以下の点を「定石」 (判断材料)として選手のパフォーマンスを評価する。</p> <p>9.2.1            礼にはじまり、礼に終わる形。</p> <p>9.2.2            可能な限り通常の形に近づけ、必要に 応じて調整している。</p> <p>9.2.3            国際柔道連盟に従い、1 人の選手が全 ての形を演技する。ユニファイドの形では、ユニフ アイドパートナーではなくスペシャルオリンピックス のアスリートが形を演技しなくてはならない。</p> <p>9.2.4            形はそれぞれ既存の形に基づいたもの としなくてはならない(例として「投げの形」、「固の 形」、「後の先の形」など)</p> <p>9.2.5            例えば、ある技を他の技に置き換える場 合、投げ技の一種から他の技へのつながりに注 意を払う。</p> <p>9.2.6            演技実施の質</p> <p>9.2.7            取りの制御</p> <p>9.2.8            実施までの順序を踏んだ技の進展</p> <p>9.2.9            試合で禁止されている技(「捨て身技」、 「関節技」、「絞技」)は認められていない。</p> <p>9.2.10 何らかの調整を加えた場合には形名説明 書(Kata Inscription form)に記入しなくてはならな い。</p> <p>9.2.11            道具類の使用は減点対象ではない。</p>
--	---